三鷹市立大沢台小学校　令和8年度 【外国語】科　授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第5学年	**〈成果〉** ・授業で扱った語彙や表現に慣れ親しむ時間を十分に確保することができた。 ・挨拶や自分のことで簡単な語句や基本的な表現を聞いたり話したりすることができるようになった。 **〈課題〉** ・大文字、小文字を書いたり、語句や表現を書き写したりすることに抵抗感がある児童がいる。 ・学習内容が分からなくなると、諦めてしまう児童がいる。	**＜学習状況の現状と課題＞** ・外国語に興味をもって取り組んでいる児童は多い。 ・スピーチなどは、何度も練習をすることで、自信をもって取り組んでいる児童が多い。 ・挨拶や自分のことで簡単な語句や基本的な表現を聞いたり話したりすることができる。しかし、前の時間に習った語句や表現を忘れてしまう児童がいる。 ・アルファベットを読むことができる児童は多いが、自信をもって書くことができる児童は少ない。 ・苦手意識がある児童は、語句の練習の段階で授業への参加が消極的になり、学習するフレーズを覚えられないことがある。そのため、習ったフレーズを活用する段階で、何と言っていいか分からない状況になることがある。 ・単語や表現方法が分からず質問に答えられない児童がいるが、助言すると取り組める。	**＜指導方法の課題＞** ・簡単な語句や基本的な表現、日常生活に関する事柄について、聞き取るまでの単語の理解ができていない。 ・前の時間に習った語句の反復する時間に工夫が必要である。 **〈授業改善策＞** ・ICT機器等を使って映像や音楽に合わせて楽しく反復できる活動を続ける。 ◎ゲーム形式やノートに練習する形式をとり、アルファベットに慣れさせる。アルファベットのなぞり、視写と段階を追って取り組めるようにする。発展学習として、アルファベットを使って、既習の単語や表現を書いたり、練習させたりする。 ・恥ずかしさや照れを感じる児童もいるので、映像やゲーム、デモンストレーション等を取り入れ、リラックスして授業に臨める環境を整える。
第6学年	＜成果＞ ・基本的な表現を使って発表する機会を多く設定することで、自分が話したいことを調べ、適切に表現しようという意欲や技能が身に付いた。 ・繰り返し発表をしたり、教員のアドバイスを受けたりすることで、相手意識をもちながら会話をする意識がもてた。 ＜課題＞ ・アルファベットを使い単語や文章を書くことにはまだ慣れていない。抵抗感をもたせずに技能を向上させる工夫が必要である。	**＜学習状況の現状と課題＞** ・英語を聞くことや話すことに親しんで取り組み、自分が覚えた語彙や基本的な表現を使って、伝え合おうとする意欲がある。 ・ICT機器やALTを活用することで、外国の文化や表現に対する理解は向上しているが、英語を使って主体的にコミュニケーションを図る児童には個人差がある。 ・準備をした発表はできるが、会話などのコミュニケーション力が低い。	**＜指導方法の課題＞** ・聞くこと、話すことが学習の中心であるため、簡単な単語などを書いたり読んだりする技能はまだ十分に身に付いていない。 ・自分の意見を伝えることが主になっており、友達の意見を受けて反応したり、それについての考えを伝える力も向上させていきたい。 **〈授業改善策＞** ・書く活動において、定期的にアルファベットを確認したり、簡単な単語を練習したりする機会を設ける。 ・既習事項を復習する場面を作り、既習事項を生かして新しい学習に取り組めるように、学習計画を作成する。 ◎自分が述べるだけでなく、他者の発言から自己の学びを広げられるように、ICT機器等を使って、更に主体的に自分の考えを発信する機会を各単元で設定する。 ・話形や必要な言葉などを提示して、会話をすることができるようにする。